



市民の皆さまへ



私は、さる9月6日の市長選挙において当選を果たし、歴史と伝統ある酒田市の市長として、その任に当たることとなりました。

改めてその責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。

7月に急逝された故本間正巳前市長は、山形新幹線庄内延伸の実現に向けて大きな足跡を残されたほか、企業誘致、農林水産業をはじめとする地場産業の基盤強化、人口減少問題への対応など卓越した行政手腕によって、これからの市政発展の道筋を示してくれました。私は、故本間前市長が進めてきた酒田市発展へのシナリオをしっかりと踏襲するとともに、39年の市職員としての行政経験と培った人脈を生かし、さらなる発展に向けた礎づくりをまい進する決意です。

本市の抱える行政課題は、産業

力の強化、人口減少の抑制、そして賑わいの創出だと思っています。

これらの課題を克服するために、さまざまな政策展開が求められます。

私は、以下の5つを重点に政策展開する所存です。

1 「人が財産」に力点を置いた政策
2 地元への経済波及効果に力点を置いた政策

3 高速道路の整備や山形新幹線庄内延伸、酒田港の整備といった交通ネットワーク整備に力点を置いた政策

4 コミュニティの維持に力点を置いた政策

5 希望を持って生活できる環境の構築に力点を置いた政策

中でも、本市の特色を生かして産業都市、交流都市としての発展を目指すために、国際港湾酒田港の活用、日本海沿岸東北自動車道の秋田・新潟県境部分の早期完成、新庄酒田地域高規格道路の整備促進に、関係自治体と力を合わせ国に働き掛けてまいります。

また人口減少抑制に大きな効果が期待できる山形新幹線庄内延伸実現に向けては、自治会連合会連

絡協議会が中心になった署名運動により約6万人の方から署名をいただきました。地域全体としてこの声をしっかりと県に届け、着実に前進させていきたいと思っております。

人口減少対策、とりわけ自然減対策としては、保育料軽減策での同時入所要件の緩和など、子どもを産み育てやすい環境を充実させ、安心して子育てできるまち酒田の実現を図ってまいります。

こうしたさまざまな施策の実施に当たって何よりも大事なことは、市民目線で市民の皆さまの思いを反映することです。経験豊かな世代の知恵とエネルギーな若者のパワーをしっかり結び付けて、政策推進の力にしてまいりたいと思います。

それにより「賑わいの創出に向けて人財と風土が支える産業・交流都市」として、ふるさと酒田の発展、ひいては庄内地域、そして山形県全体の発展につながるものと確信しています。

市民の皆さまに、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

酒田市長

丸山 至

酒田市長選挙の結果

●お問い合わせ/市選挙管理委員会
事務局 ☎26・5765

● 9月6日に行われた酒田市長選挙の当選者は次の通りです。

なお市長の任期は選挙の日から4年間で、9月6日から平成31年9月5日までです。

市長/丸山至「61歳」

得票総数/2万8千843票

年齢は9月6日現在

●投票結果

当日有権者数 (人)	男	41,864	投票率 (%)
	女	47,281	
	計	89,145	
投票者数 (人)	男	25,124	60.01
	女	27,976	59.17
	計	53,100	59.57



市議会9月定例会が開かれます

●お問い合わせ／市議会事務局議事調査係 ☎26・5770

市議会9月定例会は9月30日(水)から、次の順に行われる予定です。

- 1日目／本会議（議案上程、提案理由説明、監査委員審査意見説明）
- 2日目／本会議（代表質疑、各委員付託）、決算特別委員会（全体会）
- 3日目以降／決算特別委員会（分科会、全体会）、各常任委員会、予算特別委員会、本会議（各委員審査報告、採決）、本会議（一般質問3日間、議員・委員会提出議案審議）

◆市役所と各総合支所のロビーでは、本会議の様様をテレビモニターで中継するほか、市ホームページでもインターネット中継（実況または録画）を行います。

◆日程はあくまでも予定です。詳しくは、9月24日(木)開催予定の議会運営委員会が決まりますので、市議会事務局へ問い合わせるか、市ホームページをご覧ください。

【傍聴について】

本会議、予算特別委員会および決算特別委員会／原則どなたでも傍聴できます。傍聴希望の方は、市

役所4階議会事務局前にある傍聴受付カードに住所、氏名を記入して議場にお入りください（傍聴者には休憩時の控室を準備）。傍聴席の定員は40人です。団体での傍聴は、事前に議会事務局へ問い合わせてください。

その他の委員会／原則どなたでも傍聴できます。受け付けは開会予定時刻の30分前から行います。議会事務局で傍聴受付簿に住所、氏名を記入してください。傍聴席の定員は各委員会5人で受付順ですが、開会予定時刻の10分前に傍聴希望者が定員を超えた場合は、希望者間の協議や抽選により傍聴人を決定します。



思いやり、心の余裕で事故0に^{ゼロ} 秋の交通安全県民運動 9月21日～30日

●お問い合わせ／市まちづくり推進課市民相談室 ☎26・5726

これからの時期は、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が起きやすくなります。日没が早まる気持ちも焦りがちですが、心にゆとりを持ち、交通事故を防ぐために次のことに注意しましょう。

夕暮れ以降の歩行者・自転車に注意

【歩行者】

- 外出時は明るい服装と夜光反射材の着用を心掛ける
- 道路を横断するときは、車は止まってくれるだろうと安易に考えず、手を上げるなど渡る意思をドライバーに伝える

【自転車・自動車】

- ライトは早めに点灯する
- 自動車はハイビームを積極的に活用する
- 後部座席を含めた全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用する
- 子どもや高齢者を見掛けたら、その動きに注意し、横断歩道以外の場所でも止まって渡らせるなど、思いやりのある運転を心掛ける

交通安全高齢者等市民大会が開催されます

- 車間距離を十分に取る
- 飲酒運転は絶対にしない
- ◆今年の交通事故による死者数は、昨年同期に比べて増加しており、深刻な事態となっています。歩行者もドライバーも、いつもの道でも油断せず、いつでもどこでも安全確認を徹底しましょう。

高齢者の交通事故の抑止を目的として、次の通り開催されます。お誘い合わせの上、ぜひおいでください。

日時／9月29日(火)午後2時～

場所／総合文化センター



▲夕方から夜間にはドライバーから歩行者が見えにくくなります